

平成23年度

# わかりやすい かさまの予算

～みんなで創る 文化交流都市～



## はじめに

笠間市では、社会情勢の変化に的確に対応した、独自性・自主性の高いまちづくりを進めるための指針として策定した「笠間市総合計画」に基づき「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」～みんなで創る 文化交流都市～の実現に向けて各種施策を展開しております。



平成23年度においては、少子化対策「かさまっ子プロジェクト」、地域医療・福祉対策「すこやか安心プロジェクト」、そして農業施策「クラフト農業プロジェクト」などを重点施策として位置づけています。

重点施策のうち、新たな事業として、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業や市民のみなさんが健康で明るい生活をおくれるよう、健康づくり計画の策定をはじめとした健康都市づくり事業に取り組みます。また遊休農地の解消や栗の産地化を図るため、遊休農地活用緊急対策事業や主要農産物生産振興支援事業などを実施します。

重点的かつ効率的に事業を推進するため、23の事業を重要事務事業として位置づけ、平成23年度予算を編成いたしました。

笠間市の予算について、市民のみなさまに納めていただいた税金などが、どのように使われるのか、お知らせするため「わかりやすいかさまの予算」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

これからも「開かれた市政、情報公開」を理念に、信頼できる行政をめざしてまいりますので、今後とも、市政へのご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

平成23年4月

笠間市長 山口 伸 樹

# 目 次

I 各会計の予算額	1
II 一般会計予算を家計にたとえると	2
III 主な事業の説明	4
1. 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり	4
2. 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり	6
3. 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり	9
4. 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり	12
5. 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり	14
6. 人と地域、絆（きずな）を大切にした元気なまちづくり	16
IV 参考資料	17
1. 一般会計	17
2. 特別会計	19
3. 企業会計	22
4. 市債の状況	23
5. 基金の状況	25
6. 財政健全化判断比率	27

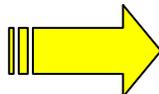
# I 各会計の予算額

(単位：千円，%)

会 計 名	平成23年度 予 算 額	平成22年度 予 算 額	比較増減額	比較増減率
一 般 会 計	27,320,000	26,540,000	780,000	2.9
国民健康保険特別会計	8,042,000	7,913,700	128,300	1.6
後期高齢者医療特別会計	623,000	638,000	▲ 15,000	▲ 2.4
介護保険特別会計	4,708,000	4,454,000	254,000	5.7
介護サービス事業特別会計	25,000	27,400	▲ 2,400	▲ 8.8
公共下水道事業特別会計	2,571,000	2,523,200	47,800	1.9
農業集落排水事業特別会計	553,000	875,100	▲ 322,100	▲ 36.8
岩間駅東土地区画 整理事業特別会計	170,000	119,800	50,200	41.9
病院事業会計	544,700	545,900	▲ 1,200	▲ 0.2
水道事業会計	2,267,158	2,429,200	▲ 162,042	▲ 6.7
工業用水道事業会計	57,083	31,900	25,183	78.9
老人保健特別会計※	—	7,600	▲ 7,600	皆減
合 計	46,880,941	46,105,800	775,141	1.7

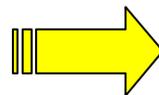
※平成20年3月の制度終了後の過誤調整の処理のため設置していました「老人保健特別会計」は、高齢者の医療の確保に関する法律による設置義務がなくなるため、廃止いたしました。

一般会計とは



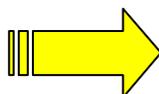
市税や地方交付税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などを財源として、福祉・教育・土木・衛生などの基本的な施策を行う会計です。

特別会計とは



国民健康保険や公共下水道のように、保険税や使用料などの特定の収入により特定の事業を運営するために、一般会計と分けて設けられている会計です。

企業会計とは



病院事業や水道事業のように、運営に係る経費を事業収入により行うために設けられている会計です。

## Ⅱ 一般会計予算を家計にたとえると

◎1年間に必要な生活費を500万円としてみると

収 入				
一般会計予算 (年額)		家計にたとえた場合 (年額)		比較増減額
市 税	87億 600万円	給 料	159万円	▲12万円
負担金 使用料など	15億6,146万円	パート収入	29万円	▲1万円
地方交付税 地方譲与税金 各種交付金	73億3,649万円	親からの仕送り	134万円	▲4万円
国・県支出金	56億8,390万円	親から特別に もらう仕送り	104万円	▲3万円
市 債	34億 10万円	ローンの借り入れ	62万円	10万円
繰入金	6億3,205万円	定期預金の取崩し	12万円	10万円
合 計	273億2,000万円	合 計	500万円	-

※比較増減額・・・平成22年度と平成23年度予算を家計にたとえた場合の比較増減額

### 借金（市債）と預貯金（基金）の状況

市債残高	273億7,781万円	ローン残高	501万円	▲2万円
基金残高	93億4,847万円	預貯金	171万円	31万円

ちなみに、一般会計の予算を市民一人あたりにすると、約34万円になります。

おもな内訳は、児童福祉や高齢者福祉、障害者福祉などの民生費が約11万円、道路整備や都市公園管理事業などに使われる土木費が約4万円、小学校や中学校、幼稚園などに使われる教育費が約4万円、ローンの返済である公債費が約4万円となっています。



平成23年2月28日 住民基本台帳人口 80,031人

「よさん」って何だか、よく分からないよ。



計画的にお金を使うために、あらかじめ使い道を考えておくのよ。

支 出				
一般会計予算 (年額)		家計にたまた場合 (年額)		比較増減額
人件費	59億 121万円	食費	108万円	▲8万円
物件費など	40億 442万円	電気料, ガス料 水道料, 電話料など	73万円	▲6万円
投資的経費 維持補修費	32億8,272万円	自宅の増改築や 家財道具購入など	60万円	▲2万円
扶助費	52億4,558万円	家族の医療費や 保険料など	96万円	6万円
補助費等	20億9,245万円	子どもの小遣い・ 授業料, 自治会費など	38万円	▲2万円
公債費	28億1,446万円	ローンの返済	52万円	-
積立金 貸付金など	7億 108万円	預貯金の積立て	13万円	9万円
繰出金	32億7,808万円	子どもへの仕送り	60万円	3万円
合計	273億2,000万円	合計	500万円	-

1年間の生活費500万円をまかなうのに、給料とパート収入（合計188万円）に、親からの仕送り（238万円）を加えてもなお不足する額74万円を、62万円をローンの借り入れや12万円を預貯金の取り崩しで補います。

前年と比べて給料とパート収入が合計で13万円ほど減り、家族の医療費などが6万円ほど増えました。給料や親からの仕送りが減ったことから、食料費を切り詰め、節電、節水を心がけ家計をやり繰りします。

家族の医療費や保険料などが増えていく傾向にあることから、なお一層の節減に努める必要があります。

また、数年後に親からの仕送りが大幅に減ることから、特に有利なローンを借り入れ、新たな預貯金の積立てを始めました。

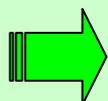


## Ⅲ 主な事業の説明

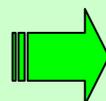
### 笠間市総合計画

「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」～みんなで創る **文化交流都市**～

基本構想  
(6つの柱)



基本計画  
実施計画



重要事務事業  
(23事業)

広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり

【土地利用・都市基盤】

岩間駅周辺整備事業 1,200,034千円

※岩間駅周辺整備事業 1,200,034千円のうちには、平成22年度から繰り越す岩間駅舎・自由通路整備事業費872,980千円を含んでいます。



岩間駅東地区の予想図

#### 岩間駅舎・自由通路整備事業

交通結節点として岩間地区の東西を連携する岩間駅自由通路と橋上駅舎が今年度末に完成する予定です。

また、都市計画道路岩間駅東大通り線・日吉町古市線の事業区間の早期完成をめざします。

#### 岩間駅東土地区画整理事業

岩間駅周辺整備事業と関連し、住生活環境の整備や駅前の再開発を図ることを目的とし整備をすすめてきた岩間駅東土地区画整理事業において、今年度は道路工事や宅地造成工事を進めるとともに、保留地の販売を開始する予定です。



岩間駅 イメージ図

#### 岩間駅東大通り線(延伸部)整備事業

岩間駅と国道355号バイパスを結ぶ幹線道路として整備することにより、利便性が高まることから、早期完成をめざします。

## 幹線道路整備事業



開通した大渕飯田線（大渕地内）

南友部平町線整備事業	209,001千円
上町大沢線整備事業	100,368千円
笠間小原線整備事業	120,100千円
来栖本戸線整備事業	163,150千円

市内の幹線道路を整備し、交通利便性を高め、地域の一体化や均衡ある発展を図るため、9路線を国からの補助金（交付金）や合併特別債を活用し、早期完成をめざします。

今年度は、寺崎飯田線が完成する予定です。

## デマンド交通システム運行事業 69,488千円

利用者の希望する場所から目的地まで送迎する「デマンドタクシーかさま」は、生活交通の手段として運行している予約制の乗り合いタクシーです。

今後も市民の交通機関として、利便性の向上や交通アクセス強化により地域の活性化を図ります。



## 景観研究事業 5,500千円

新規



笠間市の魅力向上や活性化を目的に、市内の総合的なデザインコンセプトなどについて、美術系大学と連携した調査研究を行います。



恋人の聖地推進事業

愛宕山光のオブジェ整備事業 8,000千円  
 ギャラリーロード歩道グレードアップ事業 36,900千円

新規

新規



平成22年6月に笠間市（陶芸の里かさま）が、NPO 法人 地域活性化センターが展開する地域活性化・少子化対策プロジェクト「恋人の聖地」に、県内ではじめて選定されました。

愛宕山に光のオブジェの設置や笠間芸術の森公園周辺のギャラリーロードの歩道のグレードアップなどにより、恋人たちをはじめ、幅広い年代の方々も楽しめる聖地づくりを展開していきます。

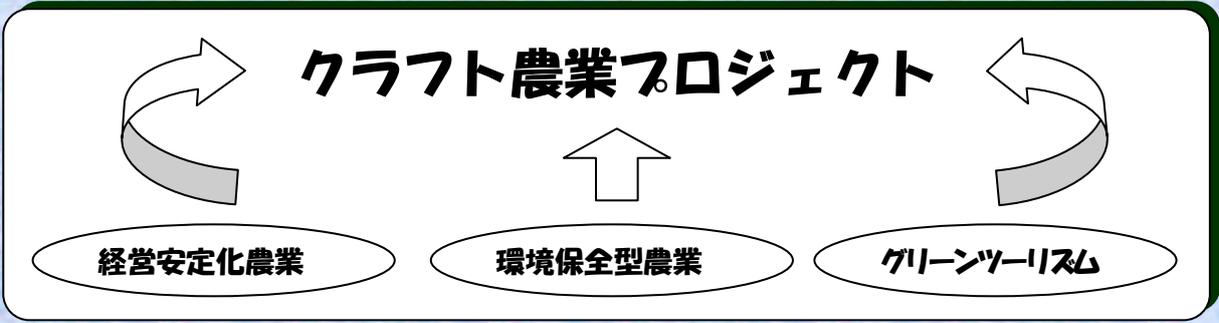
地域資源活用事業

観光PR事業 3,299千円  
 地場産業支援事業 10,518千円

笠間の知名度アップと集客力の向上を図るため、観光PRと観光客受け入れ体制の充実により、通年滞在型の観光振興を推進します。

また、笠間焼や稲田みかげ石への支援として、他産業への利用や新商品の開発、イベントを活用したPRを推進します。





**経営安定化事業**

担い手対策強化促進事業	1, 909千円	新規
遊休農地活用緊急対策事業	6, 161千円	
主要農産物生産振興支援事業	6, 847千円	新規
「栗産地育成支援事業」		
地場農産物PR事業	4, 420千円	



農業経営の安定化を図るため、集落営農組織や認定農業者などの農業の担い手育成を図ります。また農地貸借の推進などによる遊休農地の活用を図ります。

栗の改植支援などの主要農産物の振興や「かさまの絆」認証農産物である、笠間の栗「極み」などのPRにより、ブランド化を推進します。

**環境保全型農業**

**土づくり運動推進事業 1, 418千円**

良質な堆肥による土づくりや農薬の低減などにより、環境に配慮した農業を推進していきます。



**グリーンツーリズム**

**グリーンツーリズム推進事業 1, 208千円** 拡充

- 中学生農業体験事業
- 二地域居住者活動支援事業
- 「アグリスティ in 笠間」推進事業
- 体験農業支援事業

二地域居住者活動支援事業や中学生農業体験事業など、豊かな農村資源を活用した都市住民と地域住民の交流促進により、地域活性化やグリーンツーリズムを推進します。



**市街地活性化事業 11,821千円**

**笠間稻荷門前通りまちづくり推進事業  
B級ご当地グルメサミットなど**

空き店舗対策や賑わい創出のため、商工会や商店会、まちづくり団体などと連携し、街なか周遊事業、商店街アート活用事業を実施し、活気に満ち溢れた商店街づくりをめざします。

また、「B級ご当地グルメサミット in 笠間」の開催などにより、ご当地グルメ「笠間のいなり寿司」を活用した笠間のPRを推進します。



**雇用対策事業**

緊急雇用創出事業	58,129千円
ふるさと雇用再生特別基金事業	10,660千円
中小企業緊急雇用安定支援事業	3,500千円
資格取得支援事業	2,000千円

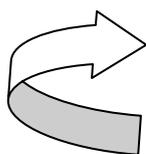
※資格取得支援事業 2,000 千円のうち、平成22年度から繰り越す事業費 1,000 千円を含んでいます。



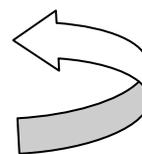
中小企業の支援などとあわせて、厳しい雇用情勢に対応して、引き続き国や県と連携して、離職した失業者などの雇用機会を創出する事業を実施します。

また、事業者や失業者、学生、非正規雇用者などを対象に、就職に関する資格取得費用を助成します。





## すこやか安心プロジェクト



### 健康都市づくり事業

- 健康都市宣言
- 健康づくり計画策定

### 市立病院

- 平日夜間・日曜初期救急診療事業
- 筑波大学病院連携事業(指導医・研修生受入)

健康都市づくり事業

4,689千円

新規



市民が健康であり続けることができる安心・安全が確立されたまちづくりを進めるため「WHO健康都市」をめざした取り組みを展開するとともに、その中心となる「笠間市健康づくり計画」を策定します。

市立病院 平日夜間・日曜初期救急診療事業 26,000千円  
筑波大学病院連携事業(指導医・研修生受入)

救急医療体制の充実強化をめざして、市内医療機関の連携により市立病院において日曜日と平日夜間に救急診療を実施し、市民が安心して暮らせる地域社会づくりを推進します。

また、筑波大学付属病院との連携により、地域医療に従事する医師の養成と地域医療の充実を図ります。

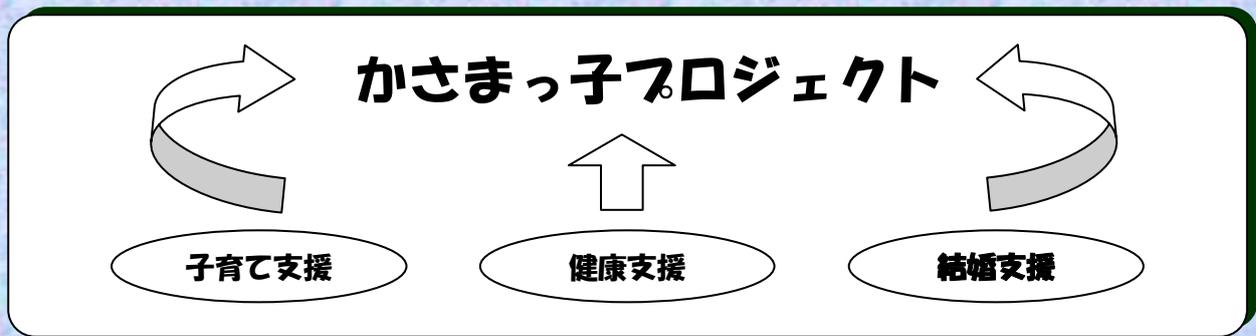


休日・夜間診療室(市立病院)

障害者地域生活支援事業 74,424千円



障害をお持ちの方がそれぞれの地域で自立した日常生活や社会生活が送れるよう、地域の特色を活かしたサービス体制をつくり、さまざまな支援やサービスの充実を図ります。

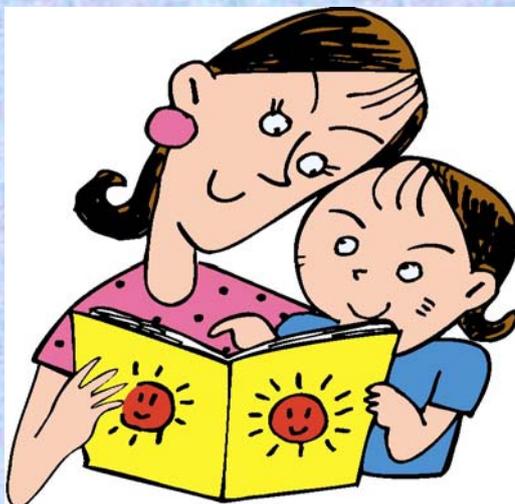


**子育て支援**

児童館整備事業	166,503千円	新規
特定不妊治療費助成事業	5,000千円	
ファミリーサポート事業(育児援助事業)	2,604千円	
児童クラブ推進事業	129,655千円	拡充

児童館の建設をはじめ、友部第二小学校第2児童クラブや東小学校児童クラブを開設します。

また、ファミリーサポート事業(育児援助事業)として、子育ての援助を希望する会員(利用会員)と子育ての援助をする会員(提供会員)により構成される活動組織を支援します。



## 健康支援

医療福祉費自己負担助成事業(小6まで対象)	63,365千円
「かさま健康ダイヤル24」事業	5,556千円
子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業	125,097千円

新規

茨城県の制度では、小学3年生までが対象となる医療福祉費自己負担助成事業(マル福)については、前年に引き続き、市独自で小学6年生まで対象を拡大し助成します。

また、「かさま健康ダイヤル24」は24時間・年中無休の電話による相談サービスです。健康・医療・介護・育児などの相談に対して、医師や専門スタッフが対応します。

新規事業として、子宮頸がんやヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン接種により疾病予防が図られることから、その費用の一部を助成します。



## 結婚支援

出会い創出支援事業 625千円

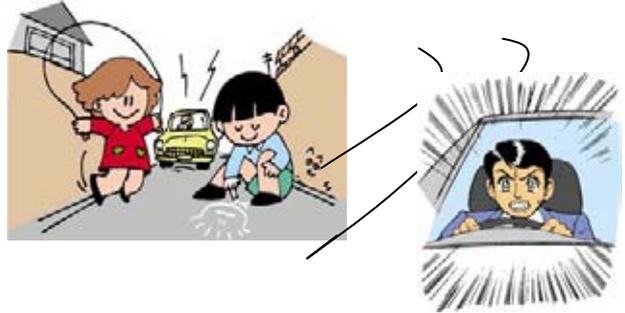
市内の団体が実施する出会い創出事業や結婚を望む方の「いばらき出会いサポートセンター」への入会金の一部を助成します。

また、晩婚化などがすすむ中、独身の子どもをもつ親御さんを対象に、結婚支援セミナーを開催します。



**狭あい道路整備事業 171,409千円**

国の補助事業を有効に活用し、4m未満の道路の拡幅工事を行います。



**生活排水対策事業 1,031,319千円**



公共下水道と農業集落排水施設の整備を推進します。  
また、茨城県の森林湖沼環境税を活用し、環境保全へ向けて公共下水道や農業集落排水への接続、合併処理浄化槽の設置を推進します。

**消防・防災事業**

水槽付消防ポンプ自動車整備事業	49,980千円	新規
民間救急ボランティア応急手当普及啓発活動事業	356千円	
茨城県・笠間市総合防災訓練事業	8,763千円	新規
自主防災組織育成事業	2,000千円	

**水槽付き消防ポンプ自動車整備事業**

安心安全なまちづくりの実現に向けて消防力の強化を図るため老朽化した水槽付消防ポンプ自動車を更新し、友部消防署に配備します。



**民間救急ボランティア応急手当普及啓発活動事業**



応急手当の普及や啓発活動を推進するため、民間救急ボランティア応急手当普及員を養成します。

また、救命率の向上を図るため、市民の方を対象にAED(自動体外式除細動器)の取り扱いを含む救命講習会を開催します。

**茨城県・笠間市総合防災訓練**

大規模な災害発生時には、迅速かつ確かな応急対応が求められることから、茨城県との共同によりみどりの広場（畜産試験場跡地）において総合的な防災訓練を実施します。

**自主防災組織育成事業**

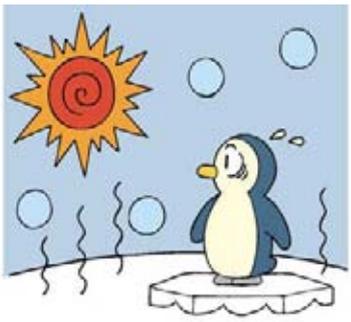
災害時等における初期消火や避難体制など、市民自らが防災活動を行う自主防災組織の結成や活動に対して助成し、市民主体の安全で住みよいまちづくりを推進します。



**地球温暖化対策事業**  
34,928千円

- 笠間市地球温暖化対策実行計画策定事業
- エコ家計簿の配布事業
- 緑のカーテンタウン事業
- 住宅用太陽光発電システム設置補助
- 住宅用エコキュート設置補助

新規  
新規



笠間市の実行計画を策定し、市民・事業者・行政の協働による地球温暖化対策を進めます。

また、住宅用太陽光発電システムやエコキュート、電気自動車を導入することにより、環境にやさしいまちづくりを推進します。



緑のカーテンタウン事業  
(南友部地区)



太陽光発電システム



電気自動車

小中学校耐震化整備事業

484,313千円



耐震補強工事が予定されている穴戸小学校

稲田小学校(実施設計)  
友部第二小学校(実施設計)  
穴戸小学校整備事業  
笠間中学校整備事業

新規

新規

安心安全な学校づくりを推進するため、穴戸小学校校舎と笠間中学校校舎の耐震補強工事を実施します。

また稲田小学校校舎と友部第二小学校校舎の耐震補強実施設計を行います。



耐震補強が施された教室

笠間学校給食センター整備事業 475,333千円

新規



老朽化した笠間学校給食センターの建て替え工事を実施します。

給食センターは、笠間地区の小中学校10校への給食や市内全小中学校21校へ米飯を供給します。

学力・文化向上事業

寺子屋事業 2,844千円  
青少年劇場小公演事業 848千円

新規

寺子屋事業

子どもたちの活動や学びの機会づくり、学習の場づくりを推進するため、毎週土曜日に小学5・6年生を対象とした学習指導を3地区の公民館において実施します。2名の講師による丁寧な指導により、学力や学習意欲の向上を図ります。



学習指導の様子

## 青少年劇場小公演事業



子どもたちが生の演奏を鑑賞することで、音楽をより身近なものとして感じられる機会を提供するため、市内小学校を対象に実施します。

## 国際陶芸シンポジウム事業

2,656千円

新規

東京芸術大学との共催による国際陶芸シンポジウムは、芸術の森公園を会場に「野焼き」や「シンポジウム」が予定され、海外15カ国31大学が参加します。

文化・情報の発信による「笠間焼」の知名度アップと振興を図ります。



## 武道館整備事業（実施設計）

22,943千円

新規

平成24年度から中学校の教育課程において、武道が必修科目となることやスポーツの振興を図るため、老朽化した笠間武道館を建て替える予定です。

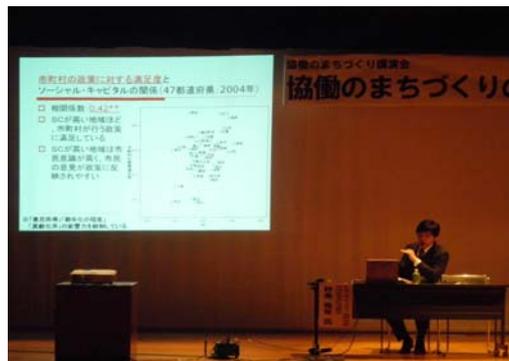
建て替えに伴う実施設計などを行います。



協働のまちづくり推進事業

協働のまちづくりの推進 184千円  
 地域ポイント制度社会実験 800千円  
 まちづくり市民活動助成事業 1,845千円

新規



協働のまちづくり講演会

「協働のまちづくり推進指針」に基づいた市民と行政の連携による協働のまちづくりを推進し、市民活動や地域のコミュニティ活動の活性化を図ります。

また、公共的な活動や社会貢献活動にポイントを付与し、記念品の交換や行政の身近な事業、団体などの事業支援にポイント還元を行う地域ポイント制度については、市民モニターを対象に社会実験などを行い、有効性などを検証します。

なお、まちづくり市民活動助成事業として、前年度は、いきいき市場助成事業など9事業に助成しました。



いきいき市場助成事業



「NPO法人クラフトファーム笠間」  
助成事業



みずほパトロール隊助成事業

収納率向上対策事業（徴収対策事業）

32,741千円

自主財源や税負担の公平性を確保するため、納付催促や訪問、財産調査、差し押えなどの滞納処分を行い、市税等の徴収率の向上を図ります。

また、納税の利便性を高めるため、口座振替による納付を推進します。



# IV 参考資料

## 1. 一般会計

### 歳入

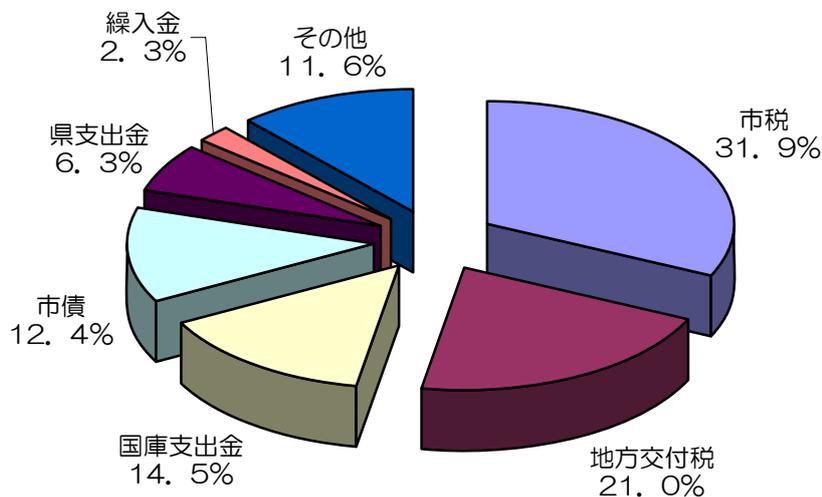
市税等の収入については、少子高齢化による現役世代人口の減少や円高、デフレなどによる企業収益の悪化によって、個人市民税や法人市民税の減収が見込まれます。

このような中、財源の有効活用のため、緊急雇用創出事業補助金や社会資本整備総合交付金など国や県の補助制度を積極的に活用する一方で、市債の借り入れについては、市債の繰上償還（公的資金補償金免除繰上償還）に充てる市債（借換債）のほかは、元利償還金の全額が地方交付税の算入となる臨時財政対策債と、同じく70%の交付税算入となる合併特例債以外については、借り入れないことといたしました。

(単位：千円，%)

歳入	平成23年度		平成22年度		比較増減額	比較増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
市税	8,706,001	31.9	9,066,411	34.2	▲ 360,410	▲ 4.0
地方交付税	5,730,000	21.0	5,730,000	21.6	0	0.0
国庫支出金	3,961,067	14.5	3,912,385	14.7	48,682	1.2
市債	3,400,100	12.4	2,782,800	10.5	617,300	22.2
県支出金	1,722,828	6.3	1,764,985	6.6	▲ 42,157	▲ 2.4
繰入金	632,053	2.3	101,200	0.4	530,853	524.6
その他	3,167,951	11.6	3,182,219	12.0	▲ 14,268	▲ 0.4
歳入合計	27,320,000	100.0	26,540,000	100.0	780,000	2.9

歳入予算状況図



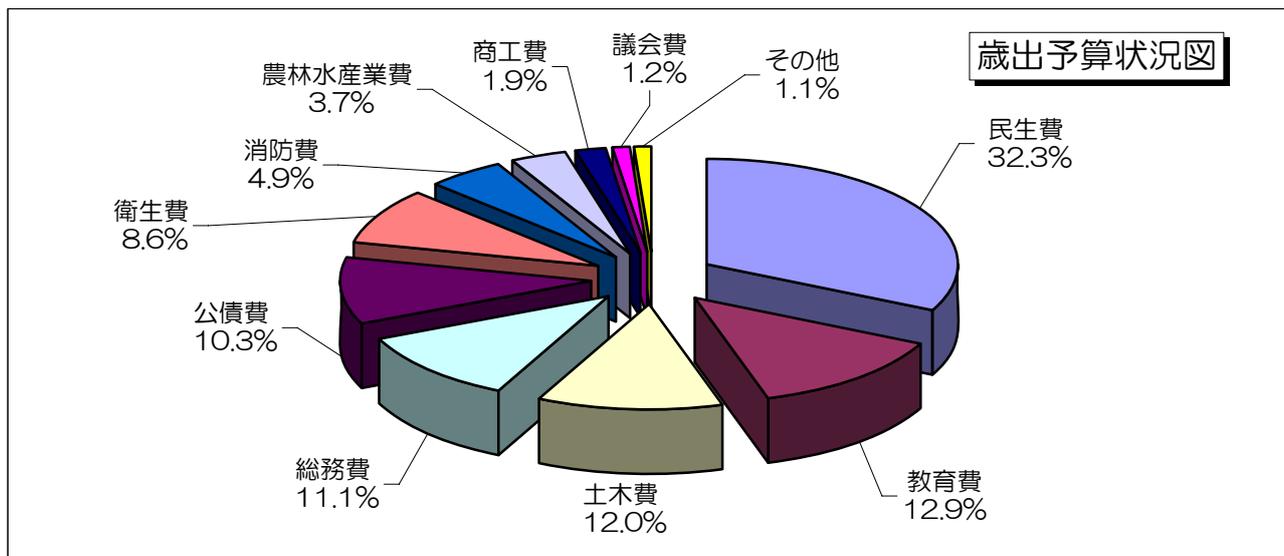
市税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	自治体間の財源の不均衡を調整するため国から交付されます。
国庫支出金	国からのお金。生活保護や幹線道路整備など特定の事業に充てます。
市債	国や金融機関から借り入れるお金です。
県支出金	県からのお金です。統計調査や選挙、農地の整備など特定の事業に充てます。
繰入金	各種基金（預貯金）を取り崩して、基金設置の目的に沿った事業に充てます。
その他	各種使用料や前年度からの繰越金などです。

## 歳 出

幹線道路や駅周辺など都市基盤の整備を進める一方で、小中学校の耐震化・耐震診断なども引き続き進めます。また、新規事業として、健康支援事業として子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業や農業支援として、遊休農地の解消と活用に向けた遊休農地活用緊急対策事業、子育て支援として児童館整備事業などを計上しました。

(単位：千円，%)

歳 出	平成23年度		平成22年度		比較増減額	比較増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
民 生 費	8,829,724	32.3	8,084,417	30.5	745,307	9.2
教 育 費	3,521,816	12.9	3,039,969	11.4	481,847	15.9
土 木 費	3,269,516	12.0	4,041,152	15.2	▲ 771,636	▲ 19.1
総 務 費	3,038,243	11.1	2,832,728	10.7	205,515	7.3
公 債 費	2,814,455	10.3	2,738,823	10.3	75,632	2.8
衛 生 費	2,339,335	8.6	2,277,407	8.6	61,928	2.7
消 防 費	1,348,218	4.9	1,349,616	5.1	▲ 1,398	▲ 0.1
農 林 水 産 業 費	1,001,127	3.7	1,129,584	4.2	▲ 128,457	▲ 11.4
商 工 費	521,614	1.9	457,386	1.7	64,228	14.0
議 会 費	334,734	1.2	284,266	1.1	50,468	17.8
そ の 他	301,218	1.1	304,652	1.2	▲ 3,434	▲ 1.1
歳 出 合 計	27,320,000	100.0	26,540,000	100.0	780,000	2.9



民 生 費	社会福祉，児童福祉，生活保護などの経費です。
教 育 費	学校・図書館などの経費，スポーツ大会などの経費です。
土 木 費	道路・公園などの整備・管理などの経費です。
総 務 費	庁舎の維持管理，広報紙発行，選挙などの経費です。
公 債 費	借入金を返済する経費です。
衛 生 費	各種健診・予防接種，ごみ収集などの経費です。
消 防 費	火災や台風などの防災活動経費です。
農 林 水 産 業 費	農業や林業の振興のための経費です。
商 工 費	商工業の振興や観光事業を推進するための経費です。
議 会 費	議員報酬や議会の運営に関する経費です。
そ の 他	病院・水道事業への支出金，不測の事態に備えた予備費です。

## 2. 特別会計

### (1) 国民健康保険特別会計

加入者の方々が病気やけがをした時に備えて、安心して治療を受けられるように、普段からお金を出し合い、お互いに助け合う国民健康保険制度のための会計です。

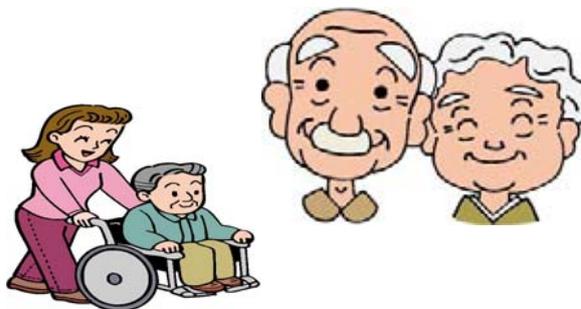


(単位：千円，%)

歳入予算額			8,042,000			歳出予算額			8,042,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比	歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
国民健康保険税	2,391,987	29.7	保険給付費	5,192,311	64.6	国民健康保険税	2,391,987	29.7	保険給付費	5,192,311	64.6
国庫支出金	2,306,208	28.7	後期高齢者支援金等	1,189,221	14.8	国庫支出金	2,306,208	28.7	後期高齢者支援金等	1,189,221	14.8
前期高齢者交付金	1,156,460	14.4	共同事業拠出金	906,785	11.3	前期高齢者交付金	1,156,460	14.4	共同事業拠出金	906,785	11.3
共同事業交付金	875,175	10.9	介護納付金	490,547	6.1	共同事業交付金	875,175	10.9	介護納付金	490,547	6.1
繰入金	610,232	7.6	保健事業費	69,075	0.9	繰入金	610,232	7.6	保健事業費	69,075	0.9
県支出金	413,491	5.1	老人保健拠出金	7,882	0.1	県支出金	413,491	5.1	老人保健拠出金	7,882	0.1
療養給付費等交付金	234,297	2.9	その他	186,179	2.2	療養給付費等交付金	234,297	2.9	その他	186,179	2.2
その他	54,150	0.7				その他	54,150	0.7			

### (2) 後期高齢者医療特別会計

75歳以上の高齢者の暮らしに配慮した治療などが行われるような仕組みを導入し、在宅医療の充実や介護サービスとの連携強化など、高齢者の生活を支える医療のための会計です。



(単位：千円，%)

歳入予算額			623,000			歳出予算額			623,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比	歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
後期高齢者医療保険料	461,401	74.1	後期高齢者医療広域連合納付金	597,482	95.9	後期高齢者医療保険料	461,401	74.1	後期高齢者医療広域連合納付金	597,482	95.9
繰入金	145,982	23.4	保健事業費	14,123	2.3	繰入金	145,982	23.4	保健事業費	14,123	2.3
その他	15,617	2.5	総務費	9,793	1.6	その他	15,617	2.5	総務費	9,793	1.6
			その他	1,602	0.2				その他	1,602	0.2

(3) 介護保険特別会計

40歳以上の国民が加入し、必要な介護サービスを利用した場合に保険給付を行う「介護保険」の制度運営するための会計です。要介護状態の軽減や悪化を防止する予防給付も行います。



(単位：千円，%)

歳入予算額			4,708,000			歳出予算額			4,708,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
支払基金交付金	1,348,645	28.6	保険給付費	4,445,542	94.4						
国庫支出金	1,045,155	22.2	総務費	140,288	3.0						
保険料	768,422	16.3	地域支援事業費	116,656	2.5						
繰入金	853,993	18.2	その他	5,514	0.1						
県支出金	684,133	14.6									
その他	7,652	0.1									

(4) 介護サービス事業特別会計

サービス収入（介護予防サービス計画費収入）により、ケアプランを作成するための会計です。



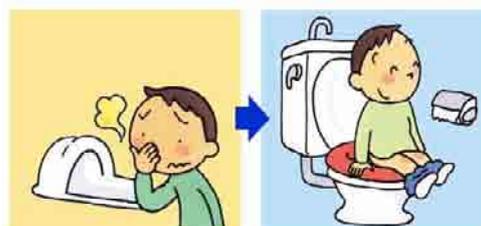
(単位：千円，%)

歳入予算額			25,000			歳出予算額			25,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
サービス収入	23,896	95.6	総務費	15,640	62.6						
繰入金	1,102	4.4	サービス事業費	9,065	36.2						
その他	2	0.0	その他	295	1.2						

(5) 公共下水道事業特別会計

公共下水道排水区域において、台所やトイレなどで流した生活雑排水をきれいにする公共下水道事業の会計です。

管きょ工事のほかに、老朽化した施設の修繕や機器等の更新を行います。なお、浄化センターともべでは、前年に引き続き、汚泥棟の増設工事を進めます。



(単位：千円，%)

歳入予算額			2,571,000			歳出予算額			2,571,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
繰入金	1,061,153	41.3	公債費	1,408,185	54.8						
市債	649,000	25.2	下水道費	1,157,815	45.0						
使用料及び手数料	495,551	19.3	予備費	5,000	0.2						
国庫支出金	247,300	9.6									
分担金及び負担金	104,082	4.1									
その他	13,914	0.5									

(6) 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水区域において、台所やトイレなどで流した生活雑排水をきれいにする農業集落排水事業の会計です。

小原地区を中心とする友部北部Ⅰ期地区の管きょ工事を引き続き行います。



(単位：千円, %)

歳入予算額			553,000			歳出予算額			553,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
繰入金	301,189	54.5	農業集落排水事業費	303,973	55.0						
市債	84,100	15.2	公債費	248,027	44.8						
県支出金	96,964	17.5	予備費	1,000	0.2						
使用料及び手数料	63,062	11.4									
その他	7,685	1.4									

(7) 岩間駅東土地区画整理事業特別会計

岩間駅東地区の土地を有効活用するために、区画整理事業を行ないます。

今年度から、一部の保留地について販売を開始する予定です。



(単位：千円, %)

歳入予算額			170,000			歳出予算額			170,000		
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比						
財産収入	60,000	35.3	土地区画整理事業費	168,475	99.1						
市債	34,500	20.3	公債費	1,287	0.8						
国庫支出金	44,000	25.9	予備費	238	0.1						
繰入金	31,500	18.5									

(8) 老人保健特別会計

※平成20年3月の制度終了後、過誤調整の処理のため設置していましたが、高齢者の医療の確保に関する法律による設置義務がなくなるため、廃止いたしました。

### 3. 企業会計

#### 企業会計予算状況

地方公営企業法を適用して市が経営している事業は、市立病院事業、水道事業と工業用水道事業です。

市立病院事業会計は、市民の病院として、地域医療を進めるための会計です。

水道事業会計は、安全な飲料水をみなさんの家庭に供給するための会計です。

工業用水道事業会計は、岩間工業団地へ工業用水を供給するための会計です。



会計名	科目	予 定 額	業 務 の 予 定 量
市立病院事業会計	収益的支出	千円 542,000	病 床 数 30 床
	資本的支出 計	2,700 544,700	年間患者数 { 入院 6,222 人 外来 21,870 人 1日平均患者数 { 入院 17 人 外来 90 人
水道事業会計	収益的支出	1,770,000	給 水 戸 数 24,002 戸
	資本的支出 計	497,158 2,267,158	年間総給水量 7,156,534 m <sup>3</sup> 1日平均給水量 19,553 m <sup>3</sup>
工業用水道事業会計	収益的支出	29,000	給 水 件 数 4 件
	資本的支出 計	28,083 57,083	年間総給水量 219,153 m <sup>3</sup> 1日平均給水量 599 m <sup>3</sup>
計	収益的支出 資本的支出 計	2,341,000 527,941 2,868,941	

## 4. 市債の状況

平成23年度の借入額は、一般会計、特別会計及び企業会計を合わせて、42億770万円を予定しています。

一般会計では、市債の繰上償還に充てる市債（借換債）5千580万円のほか、まちづくり振興基金への積立に充てる4億7千500万円をはじめ、幹線道路の整備や小中学校施設整備事業等に対する合併特例債の借入を18億4千430万円、臨時財政対策債の借入を15億円予定しています。

(単位：千円)

区 分	平成21年度末 現 在 高	平成22年度末 現在高見込額	平成23年度 借入予定額	平成23年度 元金償還予定 額	平成23年度末 現在高見込額
一 般 会 計	26,128,387	27,377,807	3,400,100	2,382,838	28,395,069
公共下水道事業 特別会計	17,883,387	17,617,743	649,000	1,012,083	17,254,660
農業集落排水事業 特別会計	4,352,303	4,549,110	84,100	163,376	4,469,834
岩間駅東土地地区画 整理事業特別会計		72,700	34,500	428	106,772
市立病院事業会計	58,683	56,103		2,700	53,403
水道事業会計	4,971,139	4,715,380	40,000	319,400	4,435,980
合 計	53,393,899	54,388,843	4,207,700	3,880,825	54,715,718

ちなみに、平成21年度末の笠間市の実質  
公債費率は13.2%です。  
県内市町村の平均は12.0%、全国市町  
村平均は11.2%となっております。



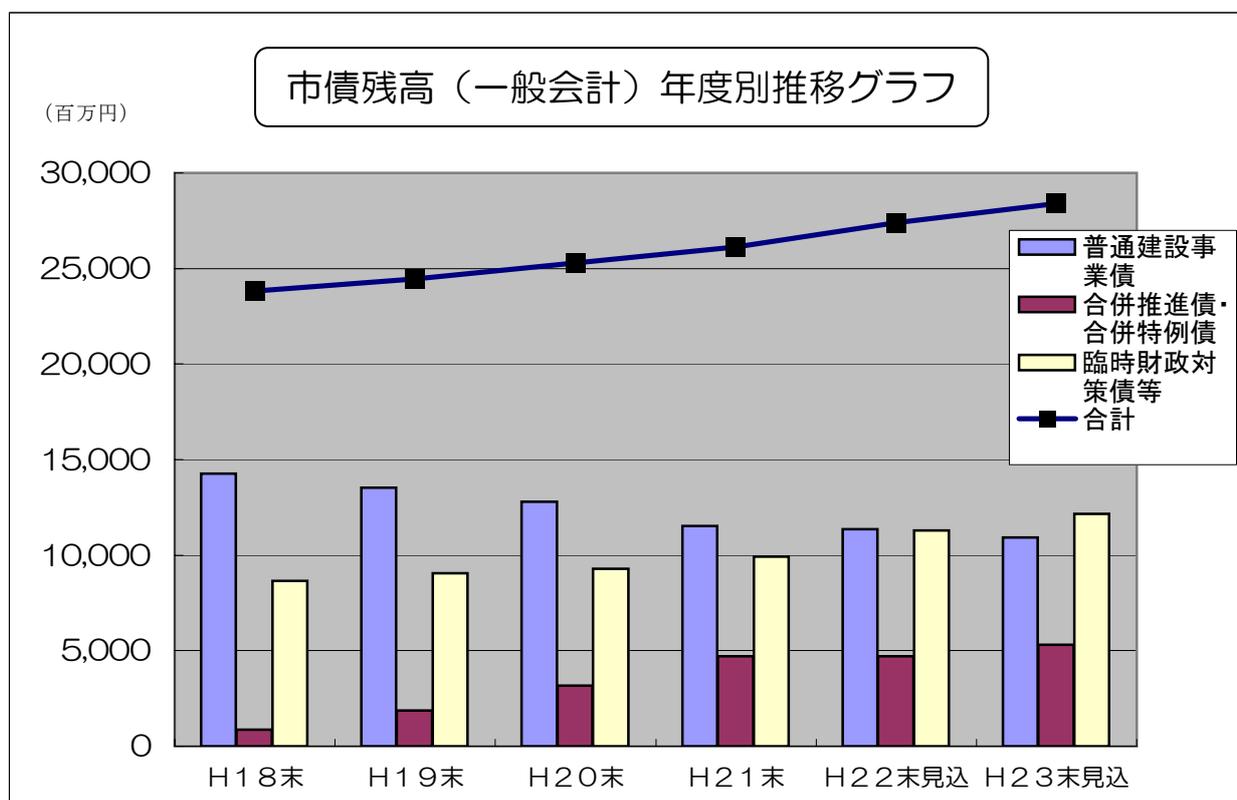
## 一般会計市債残高の年度別推移

(単位：百万円)

起債名	H18末	H19末	H20末	H21末	H22末見込	H23末見込
普通建設事業債	14,281	13,516	12,796	11,511	11,367	10,925
合併推進債・合併特例債	885	1,869	3,190	4,705	4,709	5,306
臨時財政対策債等	8,661	9,060	9,299	9,912	11,302	12,164
合計	23,827	24,445	25,285	26,128	27,378	28,395

※合併特例債は、一般会計のほか平成22年度から岩間駅東土地区画整理事業特別会計でも活用しています。

- ☆合併特例債・・・償還時に元金・利息の70%が地方交付税措置
- ☆臨時財政特例債・・・償還時に元金・利息の全額が地方交付税措置



財政指標	笠間市	県内44市町村平均	備考
地方債現在高比率 (H21年度末)	147.7%	145.2%	普通会計における将来償還すべき地方債（市債）現在高の標準財政規模に対する割合です。 地方債に関する指標は、起債制限比率など他の指標においても他市町村と比較してほぼ同じ数値となっています。

※標準財政規模・・・笠間市が標準的な状態で通常収入されるであろう經常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額等に普通交付税、臨時財政対策債発行可能額を加算した額

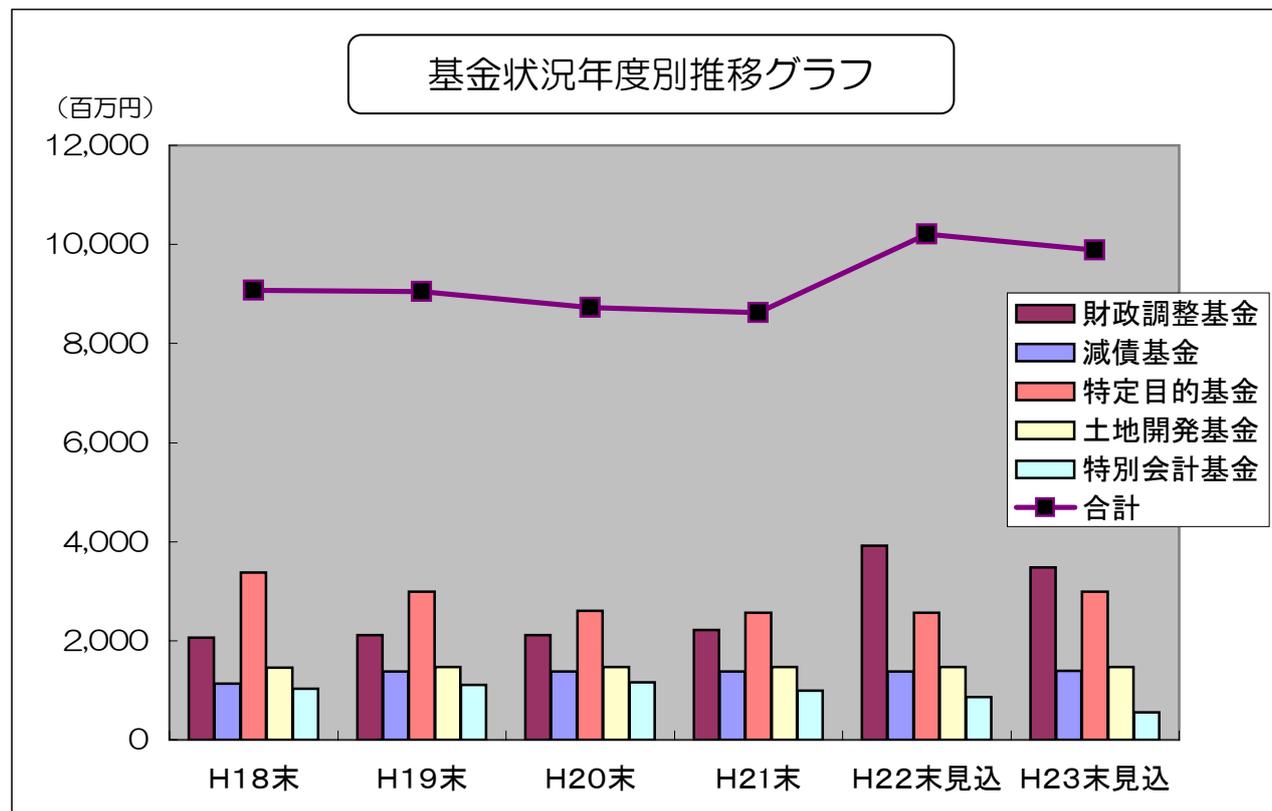
## 5. 基金の状況（一般・特別会計）

### 基金残高の年度別推移

（単位：百万円）

基金名	H18末	H19末	H20末	H21末	H22末見込	H23末見込
財政調整基金	2,067	2,109	2,112	2,220	3,922	3,484
減債基金	1,134	1,378	1,381	1,382	1,385	1,386
特定目的基金	3,382	2,986	2,602	2,562	2,569	2,991
土地開発基金	1,462	1,465	1,469	1,471	1,472	1,473
特別会計基金	1,026	1,105	1,164	992	861	558
合計	9,071	9,043	8,728	8,627	10,209	9,892

- ☆財政調整基金・・・年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金
- ☆減債基金・・・地方債の償還を年度を越えて計画的に行うために設けられた基金
- ☆特定目的基金・・・各種事業などの特定の目的のために設置された基金



財政指標	笠間市	県内44市町村平均	備考
積立金現在高比率 （H21年度末）	34.8%	33.1%	普通会計における積立金（基金）残高の標準財政規模に対する割合です。 積立金については、他市町村と比較してほぼ同じ数値となっています。

## 元気かさま応援基金の概要（笠間市ふるさとづくり寄附金）

笠間市は、歴史と文化の薫る豊かな地域資源や広域交通の優位性を生かした独自のまちづくりを推進しています。

これらをさらに推進していくため、「元気かさま応援基金」をつくり、笠間市を応援して下さる方々からの寄附金を積み立て、寄附の目的に沿った事業に活用します。

平成23年度において、以下の事業で有効に活用します。

### 【元気かさま応援基金を充てる事業】

（単位：千円）

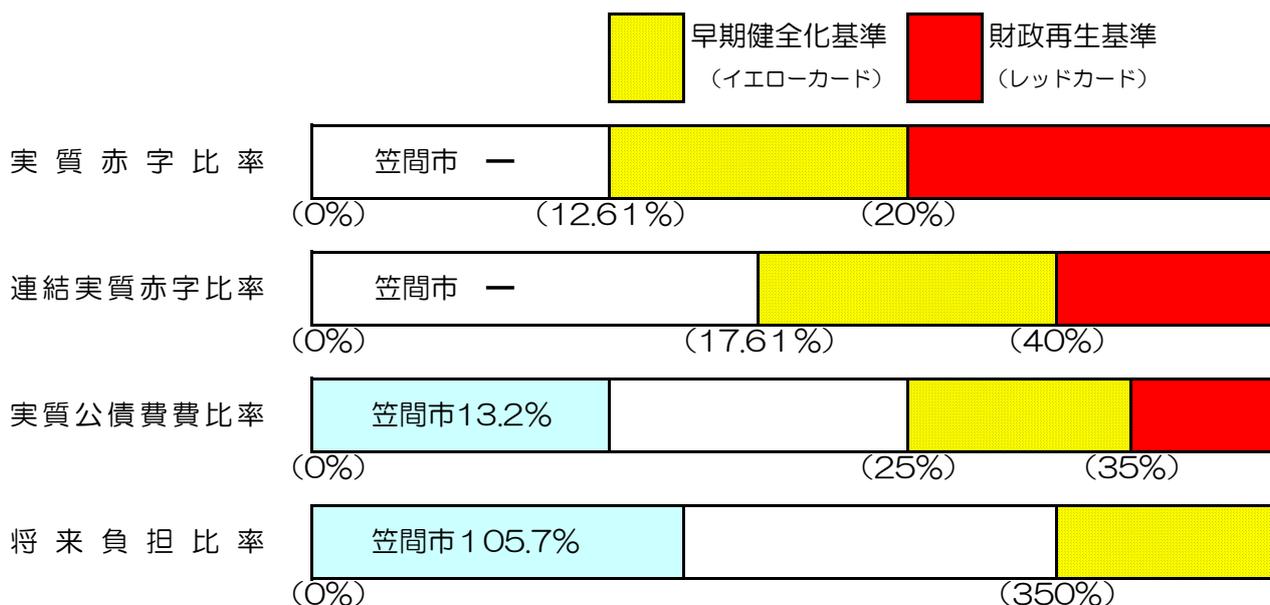
事業の区分	充当事業名等	充当額	担当課
まちづくり支援事業	まちづくり市民活動助成金	200	市民活動課
子ども支援事業	青年海外派遣事業	1,812	市民活動課
	かさま健康ダイヤル24事業	380	健康増進課
	小学校整備備品購入事業	666	学務課
	中学校整備備品購入事業	334	学務課
芸術・文化支援事業	高齢者芸術鑑賞事業	1,200	生涯学習課
	クールシュヴェール事業	500	生涯学習課

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
											
クールシュヴェール事業 （街角ふれあいコンサート）	青年海外派遣事業 （中国の工場研修）	まちづくり市民活動助成事業 （西茨城100km徒歩の旅）									
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

## 6 財政健全化判断比率

財政健全化判断比率は、「早期健全化」と「財政再生」の2段階で財政悪化をチェックするとともに、特別会計等も合わせた連結決算により、地方公共団体の財政状況をより明らかにするものです。

平成21年度決算における財政健全化判断比率は、以下のとおりです。なお、笠間市の財政状況は、すべての数値で基準を下回っております。



財政の健全度については、4つの指標で判断します。

### (1) 実質赤字比率

普通会計（一般会計等）の赤字の程度を指標化し、財政経営の悪化の度合いを示すものです。

### (2) 連結実質赤字比率

全会計（一般会計や国民健康保険、介護保険、公共下水道事業、水道事業などの特別会計）の赤字や黒字を合算し、市全体としての財政経営の悪化の度合いを示すものです。

### (3) 実質公債費比率

借入金（地方債）の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。

### (4) 将来負担比率

一般会計等の借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。

わたしたち笠間市民のねがい ー笠間市民憲章ー

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう  
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう  
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう  
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう  
きまりを守り、安心してやすらぎのあるまちにしよう

平成23年度「わかりやすいかさまの予算」

平成23年4月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

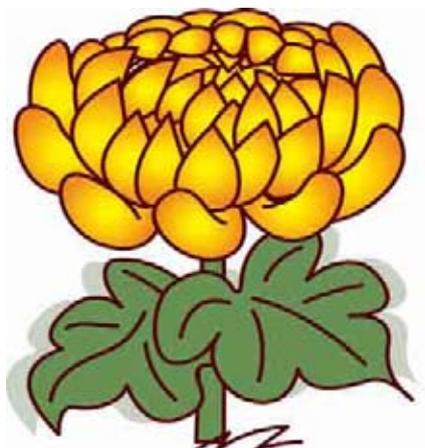
〒309-1792

笠間市中央三丁目2番1号

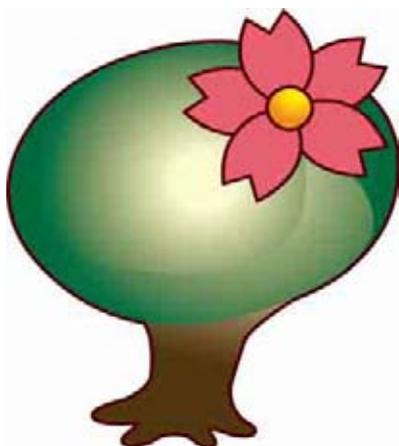
TEL 0296-77-1101

URL [www.city.kasama.lg.jp](http://www.city.kasama.lg.jp)

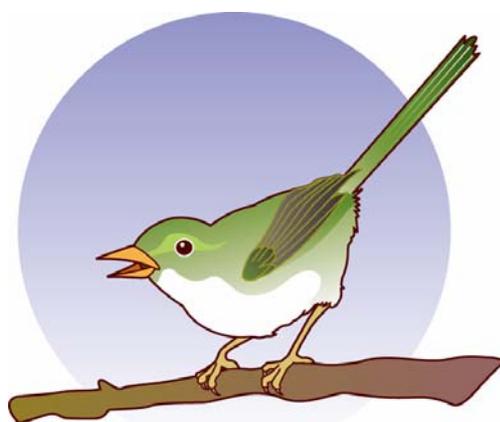
# 笠間市の花・木・鳥



きく



さくら



うぐいす

このイラストは、笠間市民憲章推進協議会主催による『市の花・木・鳥イラスト募集』において最優秀賞に選ばれた作品です。